

まちかど TOPICS

キッズ
キッチンからのエコロジー発信
生ゴミリサイクルの実演展示会

「我が家の中からエコロジーを始めませんか?」。大阪北生活協同組合のメンバーによる自主サークル「ローズマリー」では、11月20日(土)午前10時~正午、コーポ桜塚駐輪場(阪急岡町駅歩10分)で、「エコ・ガーデン」を開催。家庭から出る生ゴミをたい肥に返す実演や展示を行ないます(写真は前回)。

4月に発足したローズマリーの代表・高島邦子さんは、「日本人は酒がすやおからなど、本来は捨てるものも、資源として上手に利用してきたんです。家庭の生ゴミも、ほかしをかけておくと、窒素が多くて良質のたい肥になります。生ゴミたい肥を使えばきれいな花が咲くのにもつたいないなあ、せめて生ゴミぐらい土に返したい。ゴミ処理というより資源づくりするような気持ちで始め



ました」と話します。

小さな庭でも畠1畠の広さがあれば、簡単に生ゴミが再利用できるとか。生ゴミ処理の仕方を教えるほか、手作りほかし(150円)や、ニオイと土の改良用炭(200円)の販売も行われます。「生ゴミ処理だけでなく、台所からのエコロジーを発信してネットワークを作りたい。ささやかな取り組みが、畠中を資源循環の町に変えていけたらと思います」。

詳しくは、☎06(6849)0231大阪北生活協同組合組合員活動部へ。